特定非営利活動法人　北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会　機関紙

Wish【ウィッシュ】

No. 72
2024. 1【年4回発行】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域で必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

シリーズ　ひろがるワーカーズ　第３回
ワーカーズ・コレクティブ展 in チカホ

理事会より

地域の困りごとから生まれた私たちの仕事
ワーカーズの働き方説明会

厚別区にあるワーカーズ・コレクティブが説明会を行います。仕事を探している方や自分らしく働きたい方は、ぜひお越しください。下記 QR から 1/10 までにお申し込みください。

たすけあい　のほろ　　子育て　ほっぺ
食　花　　編集・企画・事務　プランズ EPO

◆場　所　札幌市厚別区民センター 2階 会議室A
◆日　時　1月 24 日(水) 10：00～12：00
◆参加費　300円（試食弁当代）
◆問合せ　090-2056-0949（遠藤）

申込はこちら

札幌市中央区に
新ワーカーズ「ぽぽら」誕生しました！

12月19日、子育て支援ワーカーズ「ぽぽら」が設立総会を行い、活動をスタートしました。ぽぽらとは、イタリア語でみんなが集う広場という意味。子育て中の親子に寄り添い、子育ち・子育てを地域で支え、みんなで子どもの成長を喜び合い、この街で子育てができて良かったと感じられる地域をめざします。

お問合せ 申し込み　受付時間　8：00～20：00　☎ 080-9617-0035

スタッフ募集

お気軽にお問い合わせくださいね

ワーカーズ・コレクティブは、札幌市とその近郊で 35 団体が活躍中！ 事業拡大に向けて会員を募集しています。興味のある方は下記、連絡協議会まで連絡ください。詳しい事業内容や資格などについてご説明します。

組み込み　生活クラブのデリバリーセンター(清田区)で、消費材を袋詰めする仕事です。

戸別配送　生活クラブの委託を受け、手稲区の配送センターから戸配組合員にお届けする仕事です。

編集・企画・事務　生活クラブのカタログやリーフレットなどの制作(DTP)や簡易印刷、テープ起こし、事務を行っています。

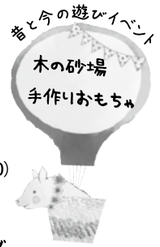
子育て支援　子育て中の家庭を支える事業「保育」「親子ひろば」など、札幌市とその近郊で行っています。

食　無添加の調味料を基本に、道産・国産の素材を使いお弁当やオードブルなどを提供しています。

たすけあい　日常生活のお手伝いや障がい福祉サービス、介護保険事業での訪問、デイサービスを行っています。

子育て支援ワーカーズのお仕事がわかる！

子育て支援の仕事内容に興味がある方のために、わかりやすくパネルでご紹介します。好きなことを仕事にしてみませんか？ お気軽にどうぞ。



- 日　時：1月 13 日(土) 10：00 ～ 17：00
- 場　所：アリオ札幌 ロフト前（東区北７条東９丁目2-20）
- 問合せ：011-632-5180

主催：NPO法人 北海道子育て支援ワーカーズ

起業カフェ へどうぞ

ワーカーズの事業や起業方法について知りたい方のためにカフェを開催します。開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応いたします。

予約不要

1/25　2/29　3/28
14:00～16:00　木曜日

会場：北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒 060-0041　札幌市中央区大通東２丁目 15-1 サラサビル４階 A 号室
☎ 011-596-0650　FAX 011-596-0651
Email　wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org
■発行責任 / 齊藤 佳代子　編集責任 / 理事会　制作 / プランズＥＰＯ
■年４回発行　年間購読料 / 1000 円

連協 HP

業 種	団体数
食	8
福祉	9
子育て	12
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨＆カフェ	1
編集・事務	1

1986 年に設立。35 団体約 470 名が加入しています。

やってみなければわからない 未経験からのスタート

interview　**敦賀 顕子 さん**

編集・企画・事務ワーカーズ　**プランズ EPO**
札幌市厚別区大谷地東１丁目4-15　生活クラブ生協本部内
TEL　080-8999-6157　〈2006 年設立・会員 15 名〉

つるが　あきこ　ものを作る仕事はインプットが大切。美術鑑賞やハンドクラフトの展示会へ足を運びます

生活クラブからの委託業務や自主事業をおこなっているプランズ EPO 代表の敦賀さんに話をお聞きしました。

無理せず働くことが大切

生活クラブに加入後すぐ、募集チラシでプランズ EPO の業務内容を知って興味をもちました。その後、支部主催のワーカーズ学習会に参加した時に誘われて副運営委員長に。委員活動を終えた２年後に入会しました。どちらも未経験でしたがやってみなければわからないと飛び込み、結果、委員の経験が今の仕事に役立っています。

仕事は自宅作業が多いため、自分で仕事の時間や量を決められますが、オーバーワークになりがちな面も。入会して数年は子どもが小さく、自分の作業ペースも遅かったため、夜遅くまでパソコンに向かっていました。今後の働き方を考え、休会して他の仕事を１年ほどしましたが、やはりプランズ EPO に戻り今に至ります。今では作業ペースも早くなり、子どもも成長したので、気持ちにも時間にも余裕ができました。心身ともに無理をしないよう気をつけながら働くようにしています。

仕事もメンバーも多様

月に一度の例会

主な仕事は、印刷物の作成やテープ起こし、共同購入事務・印刷などです。自主事業として、2017 年からシニアの孤立予防を目的とした地域サロン情報誌『ちさろ』を発行しています。生活クラブからの委託業務がメインですが、仕事の中からいろいろな繋がりが生まれて経済団体のテープ起こしや住宅関連団体のイベントの企画など、仕事の幅も広がっています。今後も、「頼んでよかった」と思ってもらえるような仕事をして、関係を大切にしていきたいと思います。

メンバーは 30 ～ 60 代の 15 名で、職歴や経験は驚くほど様々です。印刷物の作成や編集など身に付くまでに時間がかかる仕事も多く、入会したばかりの頃は悩んだり困ったりすることがあると思います。私も先輩にたくさん助けてもらったので今度はサポートする側になり、あとに続く人を育てていきたいです。

働き方の未来を考える

代表になってからは、次の世代が働きやすい環境をつくりたいと考えるようになりました。夜遅くまで仕事をしない、休日に急ぎではない連絡を入れないなど仕事とプライベートを区別するよう心がけています。フリーランスや起業がめずらしくない時代にワーカーズという働き方を選んでもらうには、他とは違う何かをアピールする必要があると思います。たとえば、ワーカーズ同士が連携して事業や企画をするなど、個々のフリーランスでは難しい「業種をこえた横のつながり」を作りやすいこと。私たちの業務や経験を、ワーカーズを広げることに活かしていけたらと思います。　【取材 / 嶋・村上】